



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3632 URL <http://corp.gree.net/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員最高財務責任者 (氏名) 大矢 俊樹 TEL 03-5770-9500
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (当社サイト上に四半期決算補足説明動画を配信)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	47,671	△10.9	3,229	△21.9	4,357	△1.0	4,718	36.8
2019年6月期第3四半期	53,524	△9.2	4,134	△47.1	4,400	△47.6	3,447	△40.3

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 7,727百万円 (139.8%) 2019年6月期第3四半期 3,221百万円 (△46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	20.48	20.41
2019年6月期第3四半期	14.62	14.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	128,642	116,156	89.9
2019年6月期	122,490	110,669	89.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 115,670百万円 2019年6月期 110,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2020年6月期	-	0.00	-	-	-
2020年6月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2020年6月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適かつ合理的な数値の算出が困難なため、連結業績予想の開示を記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	242,249,700株	2019年6月期	242,231,200株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	12,393,511株	2019年6月期	12,016,161株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	230,400,063株	2019年6月期3Q	235,858,293株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（2020年6月期第3四半期：7,063,983株、2019年6月期：7,433,483株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国における個人のスマートフォン保有率は前年比3.8ポイント増の64.7%（出典：総務省「平成30年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、2018年の国内ゲームアプリ市場規模も前年比10.2%増の1兆1,660億円（出典：株式会社G zブレイン マーケティングセクション「ファミ通ゲーム白書 2019」）と成長しております。しかしながら、直近における国内外経済は新型コロナウイルス感染拡大により急速に悪化しており、予断を許さない状況となっております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間において、当社グループは主力とするゲーム・エンタメ領域において、既存のスマートフォン向けアプリゲーム（以下、「アプリゲーム」）の長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むと同時に、新規アプリゲームの開発を進めてまいりました。この結果、新規アプリゲーム1本のグローバルリリース及び既存アプリゲーム3本の展開エリア拡大を実現することができました。

また、当第3四半期連結累計期間において、当社出資ファンドが保有株式を売却したことによる投資事業組合運用益926百万円及び当社保有株式を一部売却したことによる投資有価証券売却益2,778百万円を計上致しました。

以上の取り組みにより、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高47,671百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益3,229百万円（同21.9%減）、経常利益4,357百万円（同1.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,718百万円（同36.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は128,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,151百万円増加致しました。流動資産は98,718百万円（前連結会計年度末比4,201百万円増）となりました。主な増加要因は「現金及び預金」及び「その他」がそれぞれ1,563百万円、2,585百万円増加したことによるものであります。固定資産は29,923百万円（同1,950百万円増）となりました。主な増加要因は「投資有価証券」が3,137百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては12,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ664百万円増加致しました。流動負債は11,566百万円（同681百万円増）となりました。主な増加要因は「未払法人税等」が1,938百万円増加したことによるものであります。固定負債は919百万円（同16百万円減）となりました。減少要因は「その他」が16百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては116,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,487百万円増加致しました。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」が2,956百万円、「利益剰余金」が2,362百万円それぞれ増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末89.9%に対し、当第3四半期連結会計期間末は89.9%と横ばいで推移致しました。また、支払い能力を示す流動比率は、前連結会計年度末868.3%に対し、当第3四半期連結会計期間末は853.5%と14.8ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大、及び収益基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難なため、連結業績予想の開示を記載していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,472	86,036
受取手形及び売掛金	7,160	6,360
未収入金	1,176	2,020
その他	1,718	4,304
貸倒引当金	△10	△3
流動資産合計	94,517	98,718
固定資産		
有形固定資産	2,417	2,378
無形固定資産		
のれん	246	185
その他	147	124
無形固定資産合計	393	309
投資その他の資産		
投資有価証券	17,652	20,790
繰延税金資産	3,864	2,559
その他	3,860	4,103
貸倒引当金	△215	△217
投資その他の資産合計	25,161	27,235
固定資産合計	27,973	29,923
資産合計	122,490	128,642
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	272	2,210
賞与引当金	567	261
未払金	6,915	5,856
その他	3,130	3,237
流動負債合計	10,885	11,566
固定負債		
その他	936	919
固定負債合計	936	919
負債合計	11,821	12,485

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,362	2,367
資本剰余金	2,360	2,365
利益剰余金	113,730	116,093
自己株式	△8,296	△8,164
株主資本合計	110,156	112,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	3,008
為替換算調整勘定	△51	0
その他の包括利益累計額合計	0	3,009
新株予約権	456	444
非支配株主持分	55	42
純資産合計	110,669	116,156
負債純資産合計	122,490	128,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	53,524	47,671
売上原価	24,129	21,749
売上総利益	29,394	25,921
販売費及び一般管理費	25,260	22,691
営業利益	4,134	3,229
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	79
為替差益	90	113
投資事業組合運用益	102	926
その他	70	9
営業外収益合計	267	1,129
営業外費用		
その他	1	2
営業外費用合計	1	2
経常利益	4,400	4,357
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,778
関係会社株式売却益	1,012	—
その他	160	73
特別利益合計	1,172	2,851
特別損失		
固定資産除却損	103	41
減損損失	—	97
投資有価証券評価損	96	72
為替換算調整勘定取崩損	—	52
その他	17	31
特別損失合計	217	295
税金等調整前四半期純利益	5,355	6,913
法人税等	1,912	2,195
四半期純利益	3,443	4,718
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,447	4,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	3,443	4,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	2,929
為替換算調整勘定	△5	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△167	26
その他の包括利益合計	△221	3,008
四半期包括利益	3,221	7,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,226	7,726
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。